

仙台市医師会学術奨励賞受賞



平成23年1月7日仙台市医師会新年会 永井幸夫仙台市医師会長と

受賞理由

新型インフルエンザパンデミックに際し、小児科診療所医療従事者の新型インフルエンザの発症並びに不顕性感染の調査研究を約6ヶ月行い、医療従事者の新型インフルエンザ感染率を調べ、一般市民と比べて医療従事者の感染率が高かったことを明らかにされました。このような医療従事者を対象とした長期間にわたる研究は無く、現状の蔓延防止対策に警鐘を鳴らすだけでなく今後のインフルエンザ感染対策に参考になると高く評価されております。さらに、日常診療多忙の中、仙台小児科医会の会長として会の先頭に立ち、予防接種普及の署名活動を行うなど市民のための活動にも情熱を注いでおられます。

また、保育所嘱託医・保育士研修会の講師などを務められ、会員のみならず医療・保育従事者の生涯教育に貢献されました。

(仙台市医師会受賞者プロフィール：原文のまま)



郡和子衆議院議員と



奥山仙台市長・市立病院村田祐二先生と



斎藤恭紀衆議院議員と